



滋賀県平和祈念館

2025年度

前期

平和教養講座

企画展示
関連講演

開講日時	演 題 講 師	内 容
4月 19日 (土) 13:30 から	戦時期の国民統合と 体育・スポーツ 佐々木 浩雄 氏 (龍谷大学文学部 教授)	戦争の時代、体育やスポーツは国家との結びつきを強めていった。満洲事変の頃から、国民の体力向上・国民精神の涵養という国家的意義が求められるようになり、日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入すると、国民の身体や娯楽への管理・統制が強化されることとなる。本講演では、ラジオ体操やオリンピックをめぐる状況をトピックとしてあげながら、戦争へと歩を進めていく時代の体育・スポーツの位置づけの変化について、国民統合という観点からみていきたい。
5月 17日 (土) 13:30 から	争い・スポーツ・応援の 比較文化論 丹羽 典生 氏 (国立民族学博物館 教授)	スポーツの起源を争いや狩猟に求めることがしばしばある。またスポーツを語るときに、争いの比喩が用いられることはいまでも日常的に見受けられる。本講演では、スポーツの文脈でみられる応援という視点からニュージーランドの「ハカ」や日本の大学応援団の事例を検討することで、現代文化にあらわれる民族的対立やアイデンティティそしてそれらの変化についてみていきたい。
6月 21日 (土) 13:30 から	戦前・戦時下の スポーツと戦争 ～「身体」の政治と国民形成～ 権 学俊 氏 (立命館大学産業社会学部 教授)	果たして近代日本はどういった社会的背景と状況の中で、国民の身体と健康、そしてスポーツを国家の管理のもとに置こうとしたのだろうか。どうして1910年代からスポーツと身体に対する国家的関心が高まったのだろうか。本講演では、戦前・戦時下におけるスポーツと身体管理政策を総合的に検討することで、スポーツが近代日本社会と国民にいかなる影響を及ぼしたのか、日本人の生活や国民意識にいかなる意識を創出し、どのような「刻印」を残したのかを明らかにしていきたい。
7月 19日 (土) 13:30 から	湖南省の人々の 暮らしと戦争の記憶 ～個人的経験を交えて～ 劉 丹 氏 (総合研究大学院大学 博士後期課程)	湖南省は中国の内陸部に位置する日中戦争の激戦地の一つであり、毛沢東をはじめ、多くの革命家や戦士を輩出してきた地域でもある。建国後は、湖南省出身の多くの人が、目覚ましい経済成長と発展を遂げた広東省や浙江省などの沿海都市の工業地帯へ出稼ぎに向かっている。近年、湖南省の第一都市である長沙は、美食や賑やかな夜市、娯楽といった特徴で注目され、特に若年層にとって人気の観光都市となっている。本講演では、湖南省の人々の暮らしと戦争の記憶について紹介したい。
9月 20日 (土) 13:30 から	中国・湖南省の 戦跡をたずねて 日高 昭子 氏(当館 学芸員) 朝倉 敏夫 氏(当館 館長)	東・南・西部の三方を山地に囲まれ、北部には洞庭湖がある中国の湖南省。この地は、かつて滋賀県出身者が所属した嵐部隊が終戦を迎えた激戦地である。本講演では、嵐部隊をはじめ、多くの滋賀県出身者が所属した郷土部隊が中国大陸で残した足跡を追う「第37回企画展示」の内容を一層深くご理解いただくため、湖南省に残っている戦争の記憶を紹介したい。

【参加方法】受講を希望される方は、直接ご来館ください（事前申込不要）。

- ・会場：2階研修室
- ・定員：80人
- ・費用：無料
- ・気象警報が発令された場合等、やむを得ず講座を中止する場合があります。

参加
無料

予約
不要

当館では、「ポケット学芸員」が利用できます。

ポケット学芸員とは

学芸員が展示物に付した解説文やナレーションをお手持ちのスマートフォンで楽しむことができる無料のアプリです。
当館では、基本展示部分の内容について利用可能です。

ダウンロードはこちら



問合せ 〒527-0157 東近江市下中野町431

滋賀県平和祈念館 TEL:0749-46-0300



滋賀県平和祈念館ホームページ

